

29 期地図読み講座レポート

机上講座感想

- ① 本日は机上講座ありがとうございました。遭難の対応について事前準備、計画作成の重要性を再認識すると同時に、心理状況と対処方法を知ることができました。天候、日没等も考慮して早め早めの判断が必要となることも踏まえて行動したいと思います。地図の読み方尾根を線でつなぐことで地形が立体的に想像することができることに驚きました。樹木の種類や、斜面の状態などをイメージすることができるように、気をつけて地図を読んで状況把握を高めて行きたいです。皆さん、クイズに正解されてすごいと感心しました。明日は、コンパスで現在地把握がどのいうにできるのか実践したいと思います。
- ② 本日は、地図の読み方について学びました。これまで何気なく見ていた山岳地図には、遭難を防ぐための貴重な情報が数多く含まれていることを知り、大変驚きました。地図を丁寧に読み解いていくうちに、地形の起伏をイメージする力が少しずつ養われていると実感しています。万が一道に迷った際には、決して安易に下ることのないよう、今日学んだことをしっかりと心に留め、今後の登山に活かしていきたいと思います。本日は貴重な学びをありがとうございました。実際の山行では、霧だったり、道が分かりにくいこともあるので、しっかり復習をして身につけたい。道迷いや遭難しないように基本的なことを学ばなければと考えさせられる講座でした。これからもご指導をよろしくお願い致します。今日は忙しい中、講義頂き大変、ありがとうございました。本日はありがとうございました。
- ③ 安全に山を楽しむために、すべき行動はなにか？という事に対して、遭難というアクシデントを例に、道迷いを防止するために事前にすべき事、修得すべき技術として、地図読みを教えて頂きました。頭の中では理解する事はできました。翌日の実戦で身に付いているか確認したいと思います。また、道迷いしてしまった時の心構え、行動も教えて頂きました。ない事が良いのですが、少しは経験していた事なので、大いに共感しました。そして、万が一の時のために備える事としても教えていただいている事を少しは実践できているかと思っております。DXが進み、便利なツールが手軽に使えるようになった時代ですが、地図から得られる情報を登山計画、そして、事前の心構えとして見逃さないようにできれば、遭難事故防止につながると思います。いろいろご指示をいただく事があり、それに対し、至らぬ点も多くあると思います。また、何が分からないのか分からない事もあります。引き続き、丁寧なご指導を頂きたいをお願いします。本日はありがとうございました。明日もよろしくお願いします。
- ④ お疲れ様です。御講義ありがとうございました。遭難のニュースは目にしておりましたが、他人事で、全く自分に起こる事とは思わず、低い山だからと怖さ知らずで無計画登山をしておりました。やはり、登山学校に入って良かったです。危険と知って臨むのと、そうでないのは、お大違いです。地図読みは、全く難しいものです。地図上で、風景まで想像出来るようになるなんてと感嘆しています。明日、どれだけ生かせるか、意識して臨みたいと思います。ありがとうございました。

- ⑤ 本日の講義ありがとうございました。地図の読み方の講義でしたが、思った以上に地図には色々な情報が盛り込まれていることが分かり感心しました。地図の有り難さを改めて認識しました。最後にはスリングの使い方などを教わりました。頭で覚えるのではなく、何度も繰り返し練習して体で覚えるようにしないと実技では使えるようにならないと思いました。
- ⑥ お疲れ様です。本日はありがとうございました・今はスマホのGPSで現在地がわかるが、昔は地図とコンパスだけしか手段がなかったので、事前準備も含めて大変だったろうなと感じました。一方で、今は便利になった分、ついつい深く考えずに山に入りかねないので、その点は気をつけようと思いました。・地図読みをしながら、山を登るのも好きなので、今日は地図の詳しい見方を知れて良かったです。特に地図から山行シミュレーションをするのが楽しかったです。明日はイメージと実際がどの程度合致しているか楽しみです。
- ⑦ 地形や景色を想像しながら地図を見るのは楽しかったです。明日もよろしくお願いします
- ⑧ 机上講座感想：地図読みについて細かく学びました。地図見る時に、道の周りの様子が想像できるようになりました。スリングの使い方も学びました、明日の実際の使いを楽しみにしています。
- ⑨ 本日も机上講座有難うございました午後は頭を使った作業で眠くなることもなく良かったです。紙の地図にもいろんな種類があり読み方や注釈の意味について知らない事をたくさん学べました。長年iPhoneユーザーで緊急SOSといものを初めて知りました。新しい情報も資料をまじえて色々教えていただけるので有難いです。
- ⑩ 本日もありがとうございました。地図の読み方を学び、まだまだ読み取れないことばかりですが、地図には沢山の情報があることを知りとても興味深かったです。遭難に遭う可能性をできるだけ少なくするよう準備の大切さを改めて感じました。ありがとうございました。
- ⑪ 本日はありがとうございました。楽しみでもあり、理解できるか心配でもあった地図読み講座でしたが、たくさんのワーク作業を通して、さわりだけでも掴めたように感じます。明日の高水三山での実践で、更に読むことができるようになります。地図から様々な要素を拾い、地形をイメージするのが面白かったです。初めての山でも、等高線や地図記号などから、だいたいのルートを想像することで、道迷いや遭難になった際の一助としたいです。

実技講座感想「高水三山」

- ① 前日に地図を読んでいたとはいえ、実際に登山すると思いの外にいかないことがありました。分岐を見落としたり、尾根を外れて進んでしまったり。こまめにコンパスを見比べて、地図どおりに進んでいるか確認が必要だと感じました。ロープ講習の後、数名が先に降りていきましたが、尾根を外れて急な坂を下ってしまいました。滑りやすかったのと、方向を失念して余計な体力を消耗してしまいました。途中、受講生から外れていることを声かけてもらい元のルートに戻れました。登山ルート以外を進む場合は、先入観にとらわれず、より慎重に行動すべきだと思いました。ロープを使って降りるのは、実際に体験できてよかったで

す。ロープの耐久性、保管状況なども考慮し、手入りを忘れずに行うことが大切です。暑さも勾配もきつい山行でしたが、いろいろな学びを得ることができました。ありがとうございました。

- ② 本日は、「地図読み実技講習（高水三山）」を実施しました。午前中は、惣岳山山頂の手前でコンパスを用いた現在地の特定方法について学び、コンパスの新たな活用法を確認することができました。午後には、メンバーの一人が体調を崩すというアクシデントがあり、運営員のサポートがない中で、残る三人での下山となりました。予期せぬ状況ではありましたが、これまでの学びを活かし、コンパスや地図を用いながら、互いに協力し、正規ルートで下山することができました。机上講座で得た知識が実技において大いに役立つことを実感できた、非常に貴重な経験となりました。本日もありがとうございました。
- ③ 【地図読み実技 感想・反省】昨日はお世話になり、ありがとうございました。昨日は蒸し暑く、歩くたびに汗がでる天候で熱中症が心配でしたが、同じ班のTさんが惣岳山の山頂で具合が悪くなってしまった。Tさんは薬を飲んで少し休憩してSさんと関東ふれあい道から下山することに。私とOさん、Sさんは予定通りの道を。この時、疑問に思わなかったが、本来は班の全員で関東ふれあい道で帰るべきであったと。山行中に誰かが具合が悪くなった時の対処方法を再度、確認しておくことが大事なのだと思います。パーティーが分かれた場合、道迷いや遭難になってしまったり予想外の怪我などのリスクを事前に考えなければならなかった。惣岳山は昨年登ったので、2度目であったが、1箇所危うく分岐で間違えそうになった（小ピークから556ピークのと中の分岐）。この時はSさんが、教えてくれて助かったが、分かりにくい場所であった。あと総岳山頂上から少し歩いた三叉の分岐に行く手前で、関東ふれあい道の方に間違えて20～30メートルくらい行ってしまった。この時は同じ班のSさんが道を間違ったことに気づき、もと来た道を戻り予定の道に。班で協して地図とコンパス、ヤママップを見ながら慎重に歩いた。丸山554地点の分岐が分かりにくいので、ヤママップを見ながらももう少しのところ、茂田さんが迎えに来て下さった。分岐が見つけにくいので助かりました。最後の544からの急坂は初めロープを運営委員の方が用意してくれていて、下り安かった。ロープがあるとないとではだいぶ違うことが実感できました。班で手袋を持ってきていなかった方もいたのですが、山行に手袋は必要だと思った。ロープなしのその後の急坂の下りは、やはり修行のようだった。昨年よりは若干、怖さは薄れたが、慎重に滑らないように降りるのが大変でした。今回、初体験のSさんはそれまでは割りと楽々歩いていたように見えたが、急坂はかなり苦戦していた。ストックを一本貸したら、少し楽になったようで良かった。登山道でないバリエーションルートなどは、きっと行く機会はないと思いますが、今回の経験は滅多にできないことなので、良い経験になったと思います。
- ④ 暑い中の実技講習となった。暑さ対策として講義で教えていただいた機能性ウェアを装備し、実力を確かめさせてもらった結果、従来の装備とは快適さが格段とアップした。これも講習のおかげです。ありがとうございました。 本題の地図読みですが、事前に地図から得ている情報を現地で確認できるか、実技講習させていただきました。特にチェックポイントとなりうる分岐、合流点は、その場所の特徴だけでなく、そこに至る情報と共に観察する必要がある事をあらためて学んだ。それは、GPS マップアプリと共に活用することが安全登山への道への一歩と思いました。ガイドをいただいたスタッフさんへは特に感謝いたします。本日

はありがとうございました。

- ⑤ 本日は、地図読みの実地登山でした。地図で現在地を確認しながら、目印になるもの、送電線や電波塔、樹林の種類、等高線の幅や向きによる地形の理解を深めるを目的に臨みました。今までは、絵図と案内板と道標だけでハイキング・トレッキングを行ってきましたが、危険回避の為の講座でしたが、『知る・わかる』と言うものは楽しいものだと思います。午後は、実地が出来ず、残念でした。(自業自得ですが…)危険回避しながらの指導ですから本当に大変だと思います。ありがとうございました。
- ⑥ 今日の惣岳山登山もお世話になりました。気温と湿度が高く、過酷なコンディションでしたが、コンパスで現在地を確認したり、ロープを使った下山方法など目的は達成出来たのでとても充実した山行となりました。ロープでの下山がとても楽しかったので、もっとやりたかったです。9月の講義が待ち遠しいです。
- ⑦ お疲れ様です。本日はありがとうございました。・現在地を調べるには、一番は送電線など明らかな特徴を参考にすればよいことがわかりました。気をつけなければいけない点としては、分岐は見つけづらい分岐もあるので参考にしにくく、等高線は10m間隔の高低差しか把握できず、ときどき印象と異なることがあるので、周りの地形も見ながら現在地を調べる把握する必要があると感じました。尾根沿いを歩く道は道が明るく油断しがちですが、尾根が二股に分かれる時など、尾根を見失いやすいところがあるので、その点は注意する必要があると感じました。・今日もとても楽しかったです。
- ⑧ お疲れ様でした。地図や地形の確認の重要性が身に染みるルートでした。ロープの使い方など勉強になりました。今回もお世話になりました
- ⑨ 実習感想：楽しかった！下山の時、班の3人でコンパスとYAMAP活用しながら歩きました。迷子になってなくて。学んだことがちゃんと役に立ちましたって実感しました。分岐の後の一般ルートじゃない道は自分では絶対行く可能性0の道ですけど、貴重な体験でした。
- ⑩ 前日に地図を読んでいたとはいえ、実際に登山すると思いどおりにいかないことがありました。分岐を見落とししたり、尾根を外れて進んでしまったり。こまめにコンパスを見比べて、地図どおりに進めているか確認が必要だと感じました。ロープ講習の後、数名が先に降りていきましたが、尾根を外れて急な坂を下ってしまいました。滑りやすかったのと、方向を失念して余計な体力を消耗してしまいました。途中、受講生から外れていることを声かけてもらい元のルートに戻れました。登山ルート以外を進む場合は、先入観にとらわれず、より慎重に行動すべきだと思います。ロープを使って降りるのは、実際に体験できてよかったです。ロープの耐久性、保管状況なども考慮し、手入れを忘れずに行うことが大切です。暑さも勾配もきつい山行でしたが、いろいろな学びを得ることができました。ありがとうございました。
- ⑪ 日曜日は実技講座有難うございました。ロープを使った急斜面の降り方を学習して対応に自信ができました。忘れないうち実践でも使いたいです。お仲間さんともだいぶ打ち解けてきた

のでまた次回も講座参加楽しみです

- ⑫ 昨日はご指導ありがとうございました。破線ルートに登り、沢山の発見がありました。地図上には載っていない新たな道が作られやすい、踏み固められていないことで雨の翌日はぬかるんでいて危ない、蜘蛛の巣がたくさんある等。改めて、初心者は安全な登山道を選ぶべきだということを実感しました。今回、登っていてふと気になったのが、これから天候が荒れやすくなる季節。雲の状態から数分後の天気を予測する授業があると更に登山の安全性について熟知できると思いました。次回以降の授業に組み込まれていたらすみません。

第 29 期登山学校「地図の読み方」各班記録

1 班記録

1. 日程 令和7年7月6日

2. コースタイム

軍畑駅 8:57-鉄塔 9:25-小ピーク 9:48-556 ピーク 10:19-614 ピーク 10:38-分岐 11:11-惣岳山 (昼食) 11:23/12:03-分岐 12:15-丸山 12:52-沢井駅 14:39

3. 山行記録

天気は晴れ時々曇りだが、昨日の雨による湿気と日差しの強さで、蒸し暑い中でのスタートとなった。登山口から 100m は急登かつぬかるんでおり、足元に気を付けながら進んだ。第1ポイントの鉄塔まで、いくつかの分岐があり、そのつど地図を基に確認を行った。小ピークから 556 ピークまでに、地図上のルートと異なる登山道ができており、等高線では上りだが、実際は下りになっている状況に混乱した。614 ピークから分岐にかけて、見晴らしがよくなり、高水山や岩茸石山を右目に眺めながら惣岳山を進む。途中、地図とコンパスを用いて、自分の大まかな位置を地図で確認する方法を教わった。惣岳山で昼休憩。木陰かつ丸太がベンチ代わりとなり、クールダウンに最適だった。

帰りは分岐まで戻り、沢井駅に向かうルートへ。分岐から丸山までに会おう分かれ道が全く認識できず、言われなければ異なる道を進みそうになった。ゆっくり登ってきたが、比較的、時間に余裕があったため、丸山通過後に出くわす急斜面で次回講座である岩登りの予習をすることになった。安全環付カラビナとスリングを用いて、簡易的なハーネスを作り、木に回したロープに付けながら下った。

ゴール地点の沢井駅に到着後、各班で反省会を行い、解散となった。なお、1班では、地図だけでは正確性に欠けるとし、GPS 搭載の登山用アプリなど、様々なツールを併用することが、より安全な登山につながるといった感想が多くでた。

2 班記録

チーム:4人、担当運営委:1人 記録:1

【日程】2025/7/6 軍畑駅 8時40分集合

【コース・タイム】 軍畑駅 8:57-東光寺 9:04-物見山(小ピーク) 09:54/09:59- 556 ピーク 10:26/10:30-614 ピーク 10:49-(地図読み講習)-分岐 11:19-高水山 (食) 11:29/12:07-丸山

544 12:53-(ロープ講習)-沢井駅 14:40

【山行記録】 天候:曇りときどき晴、青梅市(最高気温 34 度、最低気温 24 度) 駅前で全員ストレッチ、グループで集まり前回学んだこと(足の運び、歩行速度)の振り返りを行った。また気温高くなることが予想され水分補給をまめに行っていくこと、体調が悪くなったらすぐに伝えることを確認し、出発した。各ポイントにて、コンパスで位置確認、進行方向確認を行う。鉄塔があることで現在位置を確認し、尾根や、左右の斜面などを確認しながら地図でどのようにあらわされているところかなど、地図と現地を見合わせながらあゆみを進めた。昨日の地図読みの講義では実際の状況を想像しながらであったが、実際に歩きながら地図を確認すると地図があらわしていることがたくさんあることと、地図の正確さに驚いた。分岐で迷う場面があったが、地図とコンパスを確認すると正しいルートが導き出され、登山時の心強いものであることを実感することができた。遠方物からの地図読みを行い、周辺の目印となる山などの周辺情報も準備の際に確認していくことが必要と感じた。ロープ講習ではロープを使いより安全に下る方法を体験し補助具の多様性を感じ興味深かった。破線ルートでの下山では、足元が不安定な中下る体験をすることができた。破線ルートはルートがわかりづらく、経験を重ね選択できるルートであると感じた。高温のためか足がつってしまう方や気分が悪くなってしまう方もおり、体調不良になったときの備えや対応も考えることが必要であることも学ぶことができた。

3 班記録

スタート軍畑駅 8:59

①神社 9:05

②小ピーク物見山 10:01

③556 ピーク 10:36

④614 ピーク 10:58

⑤分岐 11:39

⑥惣岳山 11:58

12:30 スタート

⑦丸山 13:45

⑧ 沢井駅 14:48